

東陽病院だより

脳外科・ペインクリニック科開設

東陽病院は地域の皆様の医療機関として、信頼と期待に応えるため、最新の医療機器全身体C Tスキャナーを始め、各種医療機器の整備に努めてまいりました。

更に、高齢化社会を迎えた地域の医療需要に因えるため、一月から脳外科とペインクリニック科を開設しました。

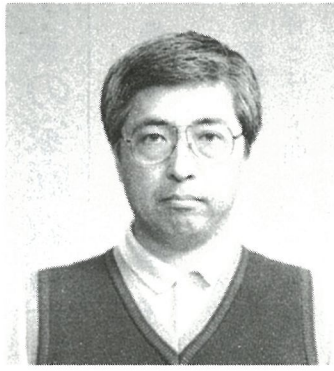
脳外科

高齢化社会となり、老人のボケや夜間の徘徊、そしてボケのための作り話などが嫁姑問題の悲劇すら生んでいることもありまます。これらの中には慢性硬膜下血腫や正常圧水頭症という病気が含まれています。これはC

T スキャンにより何の苦痛も無く検査できますし、早期治療により回復することが充分考えられます。

ペインクリニック科

ご存知でしたか？ ペインクリニックという聞きなれないことばを、頭痛、顔の痛み、肩の痛み、足の痛みなど、特に神経痛が原因となる痛みを治すのを主な仕事とする診療科のことです。その他、肩凝りや顔面神経麻痺も対象となります。他人には分からない痛みをもって毎日イライラしていると人間関係までも悪化しますので早く治しましょう。



伊藤保博医師

昭和二十三年五月三日生
八日市場市出身
昭和五十五年日本医科大学
脳神経外科大学院卒業
医学博士、日本脳神経外科学会認定医
日本医大救命救急センター

関東通信病院ペインクリニック科で活躍の後、昨年八月東陽病院に着任

脳外科・ペインクリニック科の診療日は毎週火・金曜日

受付時間は午前 8 時30分から11時30分まで

保健婦メモ

二月一日から七日は成人病予防週間です。これは、「守ろう健康、受けよう検診」をスローガンに、壮年、実年齢の健康に對し、正しい知識を持つてもらうというものです。

町では、六十二年度もいろいろな方がたと健康に関する学習をしてきましたが、中でも第一回目で、二年の期間が終ろうとしている健康づくり推進モデル地区事業には、地域の方がたが中心となり集落ぐるみで健康教育、健康相談ができ、目的どおりの健康推進運動が展開できました。その結果、健康に対する感心が高まり、表一に示すとおり一般健康診査の受診率も高くなっています。また、モデル地区事業として行なわれた各種教室により得られた知識が少しずつ実生活に生かされてきているようです。タバコの本数が半分減ったり、完治した後でも毎月町の健康相談を利用して、血圧などを測り健康管理をしている方が実際にいます。あなたも何か一つ健康面の目標をたて出来るものから始めてみてはいかがでしょう。

さて、六十二年度の町の検診は終了しましたが、受診できなかった方、異常のあった方、そのままにしてはいないでしょうか。六十二年の検診でも成人病予備軍の方が表二のように出ています。健康のことで気になる方、再度血圧測定などをすすめられた

方は、春になる前に一度、保健センターにおいでください。六十二年度に引き続き、六十二年度毎月一日に健康相談を実施しますので是非ご利用ください。

表1 S 62. 9. 24実施

一般健康診査

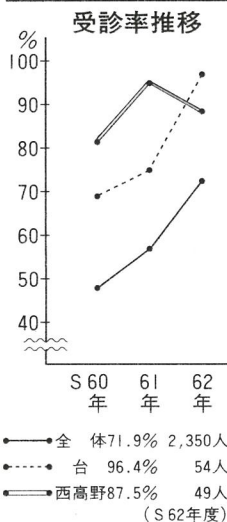
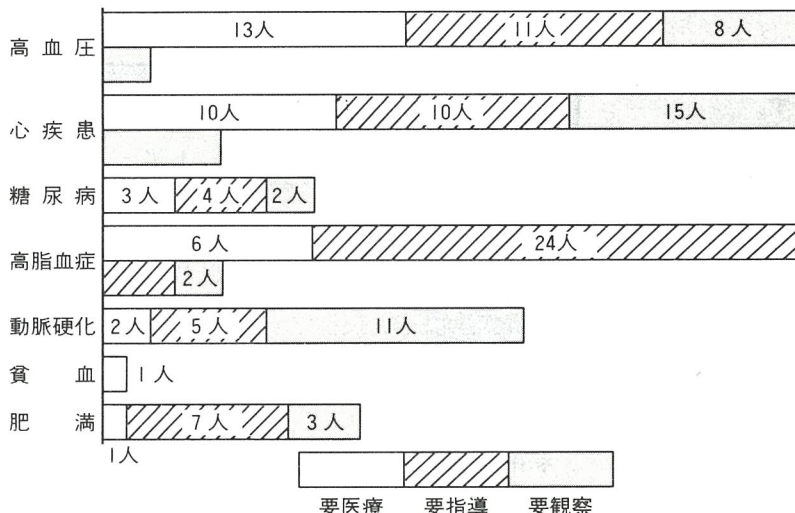


表2 (10月28日・29日分)

(異常のあったもののうちわけ)

62年度一般健康診査(精密診査)結果



2月26日 9:30~12:00・13:00~15:30

保健センターで献血があります。ご協力をお願いします。